

# 修士論文

土井 隆暢





# 目次

第 1 章	Introduction	3
第 2 章	Experimental setup	5
2.1	OKTAVIAN . . . . .	5
2.2	検出器セットアップ . . . . .	5
第 3 章	Analysis	7
第 4 章	Conclusion and discussion	9
第 5 章	Acknowledge	11
参考文献		13



# 図目次

2.1	simbol . . . . .	5
-----	------------------	---



## 第 1 章

# Introduction

機械学習は Keras [1] を使ってやるでー。

hoge



## 第 2 章

# Experimental setup

### 2.1 OKTAVIAN

2.1

### 2.2 検出器セットアップ

#### 2.2.1 検出ガスの決定

$\alpha$  粒子のレンジで決めた。efficiency が一番大きくなるように。



図 2.1: simbol

### 2.2.2 ドリフトスピード

ドリフト速度の決定方法は 30 degree 方向に  $\alpha$  線源から  $\alpha$  を出して、その飛跡がデータ上でどう見えるかで決定する。ドリフト速度の時間依存性も見た。

## 第 3 章

# Analysis

### 3.0.1 機械学習

これまでは Hough 変換を使って解析を行ってきたが、高速に処理をするためにニューラルネットワークを用いた解析方法を開発した。

### 3.0.2 解析



## 第 4 章

## Conclusion and discussion



## 第 5 章

# Acknowledge





## 参考文献

- [1] François Chollet, et al. Keras, 2015.